

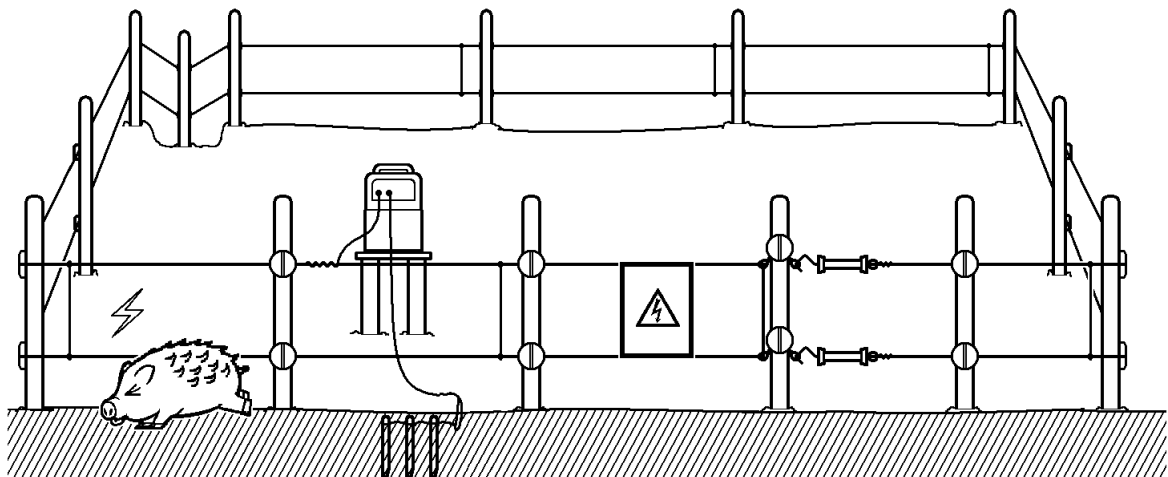
Suiden

電気さくせんいそうしつ
戦猪走失
SEF-100-4WX
有効柵線距離 3500m

4電源が選べる!

- ・バッテリー
- ・ソーラーパネル
+バッテリー
- ・乾電池
- ・ACアダプター

取扱説明書



- 大切な農作物を守るため、電気ショックでイノシシやシカ、クマ、タヌキなどを追い払う装置です。
- 本体から出た電流は、出力柵線を通り、出力柵線に触った動物の体内を流れて足から地面に流れ、地中からアース棒を通して本体に戻ります。この電気の流れで動物に電気ショックを与えます。動物は柵に近づくと危ないということを学習して、次第に近寄らなくなります。

もくじ

	ページ
安全上のご注意	1
仕様	2
各部の名称と働き	4
設置	5
出力確認と検電器の使いかた	11
日常の管理	12
故障かな?と思ったら	12
出力柵線の設置	13
アフターサービスと保証について	15

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド〈**Suiden** スイデン〉製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
 ご使用前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、本説明書を必ずお読みください。



日本国内仕様（海外では使用できません）

安全上のご注意



本機は、出力柵線に触れた動物に電気ショックを与えて追い払い、農作物を守るためのものです。これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

※ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。






※ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、『警告』『注意』の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。








 警告 取扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。	 注意 取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容です。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。（下記は絵記号の一例です。）

 ○記号は、してはいけない『禁止』内容です。 (左図は分解禁止)	 ●記号は、必ず実行する『強制』内容です。 (左図はアースする)
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 警告	 ○心疾患の方は、本機や、出力柵線に触れない。 * ペースメーカーや医療機器が誤作動する恐れがあります。
	 ○雷が発生しているときは、本機や、出力柵線に近づかない。 * 感電する恐れがあります。
	 ○本機を有刺鉄線に接続して電気を流さない。 * 人体に重大な危険を及ぼすことがありますので絶対に止めてください。
	 ○本機を複数の電源につながない。 * 故障や重大な事故の原因（漏電、感電、火災など）の原因になります。 製品仕様の電源を使用してください。

 注意	 ○本体を分解したり、改造を絶対にしない。 * 発火や感電、異常動作をすることがあります。
	 ○本体を水中に浸さない。 * 漏電・感電などの原因になります。 本機は屋外設置仕様ですが、水没させると故障します。
	 ○濡れた手で、本体電源部やクリップ部を触らない。 * 感電やケガの恐れがあります。
	 ○本機内部の隙間に針金や指などを入れない。 * 感電・故障の原因になります。
	 ○動作中の出力柵線に触らない。 * 出力柵線に触れると感電します。特にお年寄りやお子様が出力柵線に触れないように配慮してください。
	 ○「危険表示板」を目立つ場所に必ず掲示する。 ○電気柵を使用していることを、周辺の人たちに知らせる。 ○公道の近くで使用する際は、出力柵線の外側にフェンスなどを設け「危険表示板」を掲示する。 * 出力柵線に人が触れると感電します。出力柵線に触れないようにしてください。

⚠️ 注意



- 火気の近くに設置したり使用をしない。
- 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くに設置しない。
* 発火の原因になります。発火しやすいものがある屋内で使用しないでください。



- 電気柵を使用しない期間は、バッテリーや乾電池を取外す。
- 本体やバッテリーは、陽の当たらない場所に保管する。
* 出力柵線に電気を流さない期間は、出力柵線も撤去してください。



- 本機や出力柵線のお手入れ・延長の際は、電源スイッチを切る。
* 感電の原因になります。



- お手入れの際に、タワシ・磨砂・ベンジン・シンナーは使用しない。

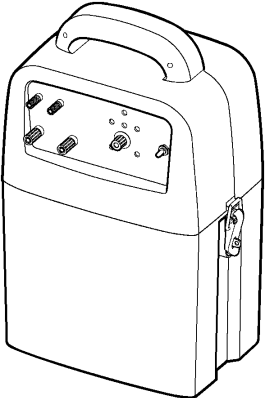
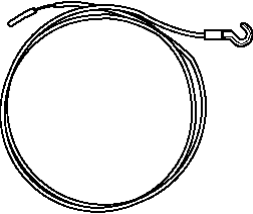
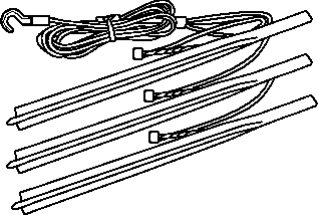

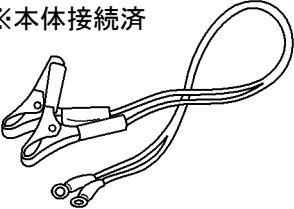
注記

- 適切にアースを設置してください。
* アースが出来ていなければ、電気柵の効果はまったくありません。
- 1本の出力柵線に2台の電気柵器をつながないでください。
* お互いの電流を打消し合い、電気柵の効果なくなります。
- 電気柵を、人に使用することは禁じられています。
* 本機は対動物用です。
- 大きな動物に注意してください。
* 特に大きなイノシシやクマなどは完全に防ぐことが出来ない場合もあります。
- 鳥獣保護および狩猟に関する法律を順守してご使用ください。
- 動物をみだりに殺したり傷つける行為は、動物愛護法により禁じられています。

仕様

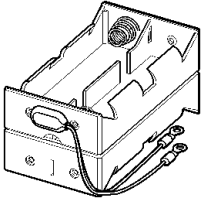
タイプ	4電源使用可能タイプ
品番	SEF-100-4WX
電源 (※ 別売)	・DC12V (12V バッテリー 40B-19) ・DC12V (12V バッテリー 40B-19とソーラーパネル) ・DC12V (単1形アルカリ乾電池8本) ・100V (ACアダプター・ブレーカーセット)
出力電圧	最大10,000V
出力間隔	約1秒
運転切替	「連続」「昼」「夜」
最大有効距離	3,500m
稼働日数の目安	バッテリー半日運転：約45日間、乾電池半日運転：約50日間
本体寸法	幅×奥行き×高さ 260×170×395mm
本体質量	2.6kg
備考	※別売電源「ACアダプター・ブレーカーセット」「乾電池ホルダー」「ソーラーパネル」は、スイデン純正オプションをお買い求めください。 ※40B-19バッテリー、単一アルカリ乾電池(8本)はお客様でご用意ください。

セット内容をご確認ください。

電気柵器本体	高電圧出力線	アース棒(3連)	危険表示板
			
	バッテリー接続コード ※本体接続済		取扱説明書 (この冊子)
			


別売品のご案内

— 電池ホルダーコード付 —



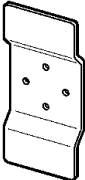
— 本体取付金具(バッテリー用) —

〔取付ボルトは付属していません〕




— 本体取付金具(電池用) —

本体取付金具

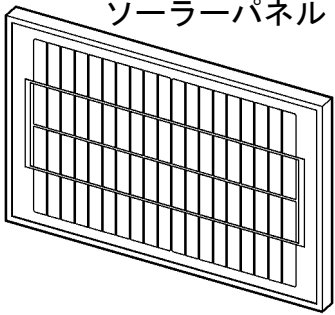


ネジ4本

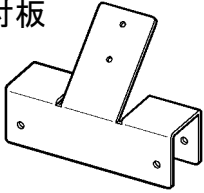


— ソーラーパネルセット —


ソーラーパネル



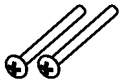
ソーラーパネル
取付板




ナット2個



ネジ(長)2本



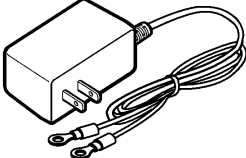
ネジ(短)2本



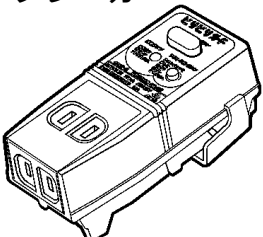
ネジ(短)は、ソーラーパネルの裏側にあらかじめセットされているものをドライバーで外してご使用ください。

— ACアダプター・ブレーカーセット —

ACアダプター

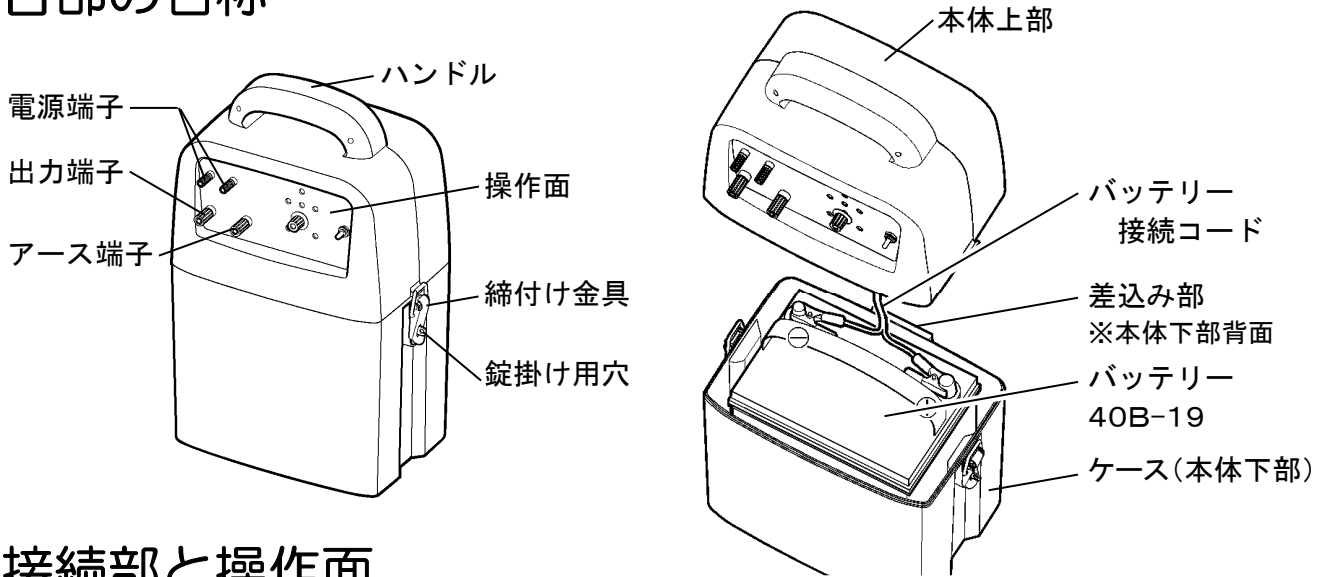


ブレーカー



各部の名称と働き

各部の名称



接続部と操作面

電源端子

《ACアダプター使用時》
別売ACアダプターのコードを接続します。
※他の電源をすべて外してから接続してください。

《ソーラーパネル使用時》
別売ソーラーパネルのコードを接続します。

出力端子

高電圧出力線のフック端子を接続します。

アース端子

アース棒から出ている線のフック端子を接続します。

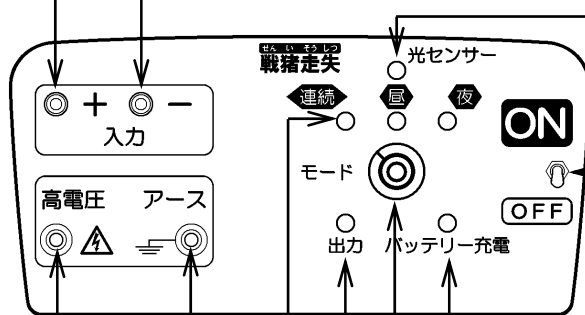
モードランプ

モード切替ダイヤルの目盛も兼用しています。作動中はダイヤルで差した電流出力パターンが点滅します。

- 「連続」…24時間電流が流れます。
- 「昼」……光センサーが光を感じている間のみ電流を出力します。(日中)
- 「夜」……光センサーが光を感じられなくなると電流を出力します。(夜間)

出力確認ランプ

通常動作時に点滅します。



光センサー感光部
周囲の明暗を感知します。

電源スイッチ
電源のON/OFFをします。

バッテリー充電ランプ

《バッテリー使用時》
このランプが点滅したときは、速やかにバッテリーの充電をお願いします。

※半日運転の場合の目安…約45日

注記 バッテリーが完全に放電するとランプは点滅しません。

《乾電池使用時》

バッテリー充電ランプは乾電池に対応していません。充電ランプが点滅する前に定期的に乾電池の交換をしてください。

※充電ランプ点滅時には乾電池が完全に放電している可能性があります。
※半日運転の場合の目安…約50日

モード切替ダイヤル

電流出力パターンを選択します。「連続」「昼」「夜」3パターンから選べます。

設置

安全にご使用いただくために、必ず「安全上のご注意」の項を先にお読みください。

ご準備ください（本セット以外に必要なもの）

- 支柱 ●クイックガイシ ●出力柵線 ●ゲートグリッパ ●木づち ●ハンマー ●ペンチ
- 3～4m計れるメジャー ●プラスドライバー ●本体を置く台座または、本体取付け用の丈夫な木杭

1. 出力柵線の設置（13～14ページ参照）

設置ルートを決めて下草刈りをし、支柱を立てて出力柵線を張ってください。

2. 電源の接続準備

- はじめに電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

次の4電源のうち、どれか1つを接続します。

- ①バッテリー、②バッテリーとソーラーパネル、③単一乾電池、④ACアダプター・ブレーカーセット

※電源の接続時は、他の電源を外しているか必ず確認してください。2つ以上の電源につなげていると故障や事故の原因になります。

《バッテリーの接続》

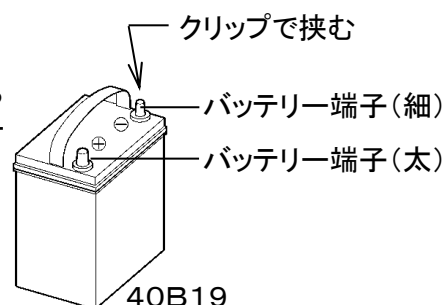
- ① 本体フタを開けて本体上部裏側にバッテリー接続コードがあらかじめ付属されていることを確認してください。

- ② バッテリーを入れます。

本体底のシールの向きに従ってバッテリーを入れて、本体にあらかじめ付属されているバッテリー接続コードのクリップでバッテリー端子を挟んで接続してください。

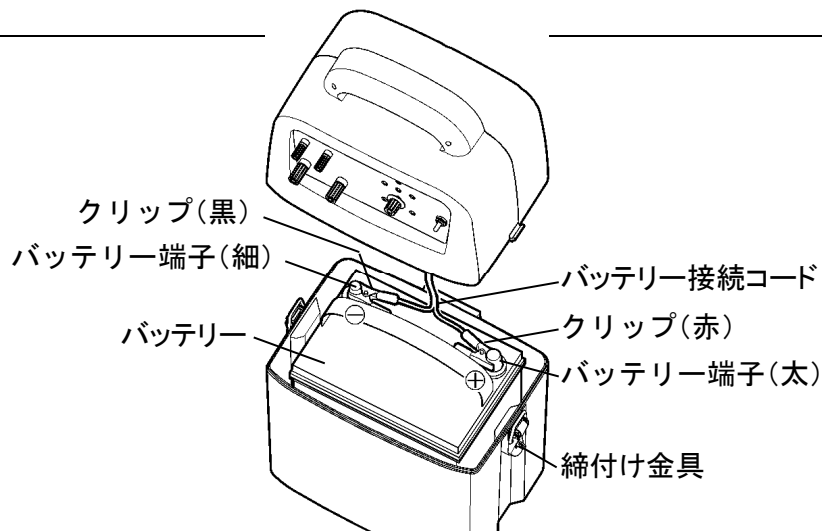
バッテリー接続コード(赤色) ⊕ ——— ⊕ バッテリー端子(太)

バッテリー接続コード(黒色) ⊖ ——— ⊖ バッテリー端子(細)



注記

- ①バッテリーの⊕・⊖を間違えないように注意して接続してください。
- ②バッテリーは電気さくを使用しなくても3か月に1度は充電が必要です。
- ③必ずバッテリー接続コードを先に本体についていることを確認してからバッテリーをつないでください。



③ 本体フタを閉めます。

40B-19のバッテリーがピッタリと収納できるケースになっています。

バッテリー接続コードを挟まないように本体フタをかぶせて取付け金具で確実に締めてください。

バッテリーを電源として使用する場合は、これで電源接続は完了です。

ソーラーパネルを併用する場合は、次の項目に進んでください。

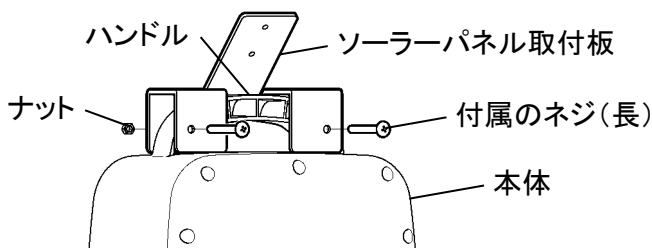
《ソーラーパネルの接続》

●はじめに電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

●バッテリー接続を完了した後にソーラーパネルを接続します。

① ソーラーパネル取付板を取付けます。

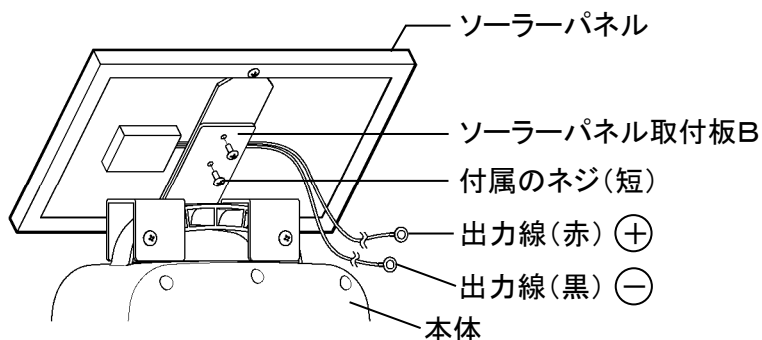
本体のハンドルの取付穴と、パネル取付板の取付穴を合わせて付属のネジ(長)を通し、ナットで締付けて固定します。



② ソーラーパネルを取付けます。

1) ソーラーパネルとパネル取付板のネジ穴を合わせて、付属のネジ(短)2本で固定します。ソーラーパネルの上下の向きは、右図のようになりますと出力線を本体の電源端子に接続しやすくなります。

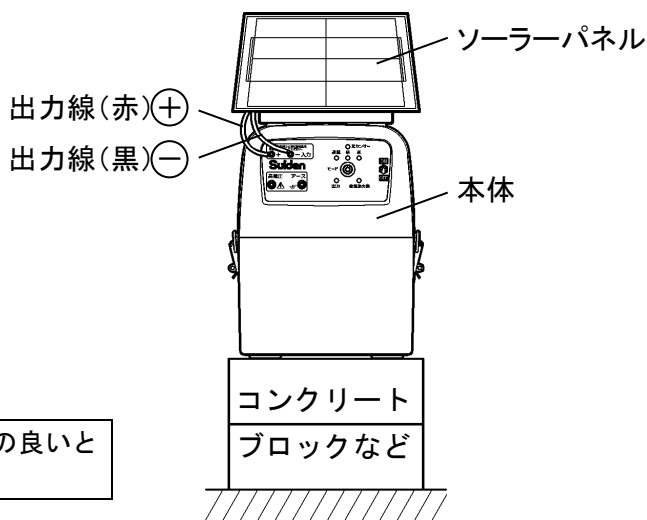
※付属のネジ(短)はあらかじめソーラーパネルにとりつけてあります。プラスドライバーで外してソーラー取付板にご使用ください。



2) ソーラーパネルの出力線を本体の電源端子に接続します。

出力線(赤) (+) — (+) 電源端子(+)

出力線(黒) (-) — (-) 電源端子(-)



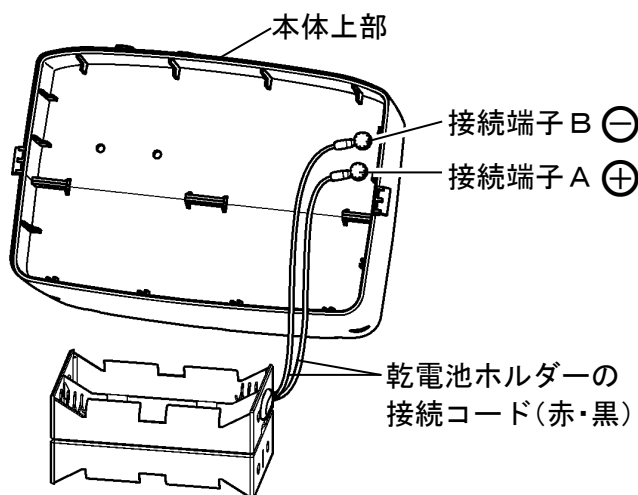
注記

ソーラーパネルは陰にならない日当たりの良いところに設置してください。

《単一乾電池使用の接続》

●はじめに電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

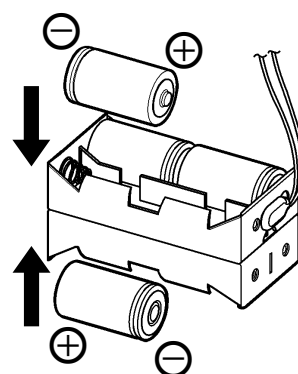
- ① バッテリー接続コードを本体上部裏側の端子から外します。
- ② 乾電池ホルダーのコードが本体上部裏側の接続端子に接続されているかご確認ください。
(接続端子⊖と接続端子⊕ の接続間違いがないか確認ください)



- ③ 乾電池ホルダーに単1形アルカリ乾電池8本を入れてください。

注記

- ① 乾電池の⊕・⊖の方向を間違えないように注意してください。
- ② 乾電池を交換するときは、8本全て同じ種類の新しい乾電池を用意してください。
古い乾電池と混ぜて使用しないでください。
- ③ 乾電池を乾電池ホルダーから抜くときは、乾電池ホルダーを手で持ってください。
- ④ 長期間使用しないときは、乾電池を乾電池ホルダーから抜いてください。*液漏れ防止のため



- ④ 本体上部を閉めてください。
乾電池ホルダーのコードを挟まないようにご注意ください。

《ACアダプター・ブレーカーセットの接続》

●はじめに電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

- ① バッテリー接続コードを本体上部裏側の接続端子から外します。

注記

ACアダプターを使用する際は、必ずバッテリー接続コードや乾電池ホルダーが外れていることを確認してから接続してください。他の電源がつながったままで使用すると、故障や事故の原因になります。

- ② 電源端子にACアダプターのメガネ端子を接続します。

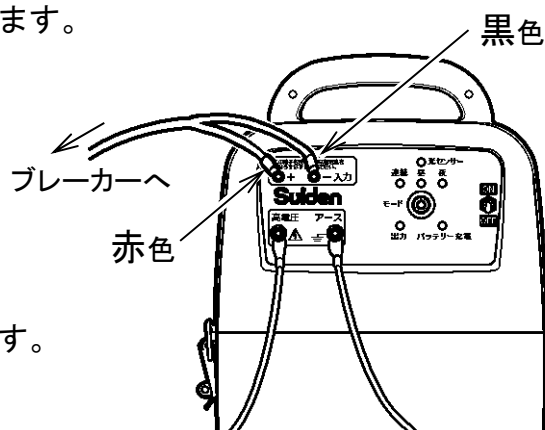
1) 電源端子 ⊕ にメガネ端子(赤色)を接続します。

2) 電源端子 ⊖ にメガネ端子(黒色)を接続します。

※高電圧出力線とアース線に触れないようにしてください。

- ③ ブレーカーを100Vコンセントに接続します。

- ④ ACアダプターのプラグをブレーカーに差込みます。



3. 本体の設置 (防雨型ですので、屋外設置ができます)

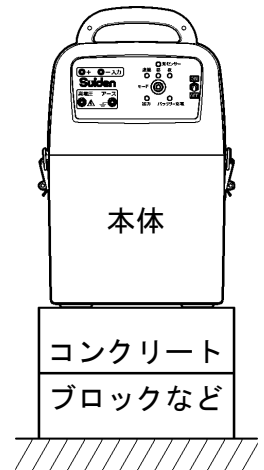
注記

- ①日中でも暗い場所に設置すると、夜間運転にした場合に通常よりも早く出力を開始しますので、ご注意ください。
- ②本体を地面に直置きしたり、横倒しや、上下逆向きに設置しないでください。
- ③雨天時に本体上部を開けるときは、本体内部に雨が入らないようご注意ください。
- ④ACアダプターをご使用の場合は屋内設置してください。ACアダプターは非防水型です。

《バッテリー使用の場合 (ソーラーパネル使用も含む) 》

●通常設置

本体を右図のような台座に置いてご使用ください。
(台座に置くことで地面からの湿気や雨の跳ね返りを防ぎます)

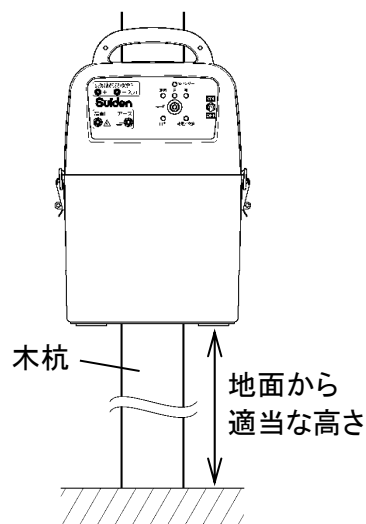
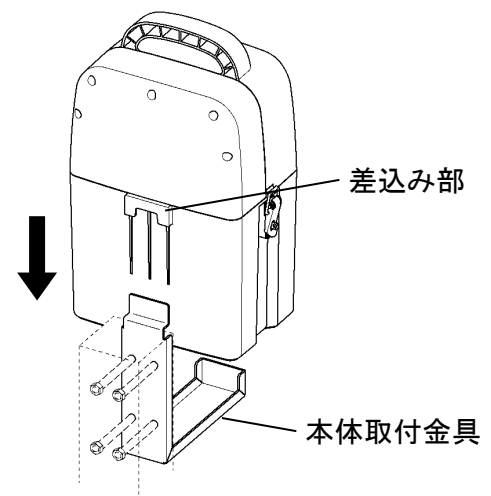
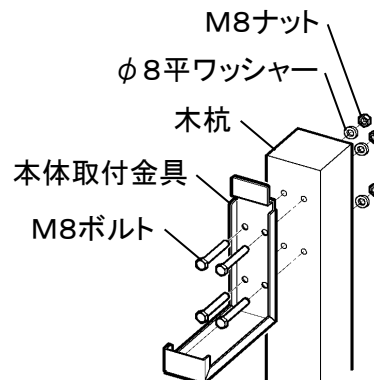


●木杭に設置する場合の手順

注記

別売オプションの本体取付金具
(バッテリー用)をご用意ください。

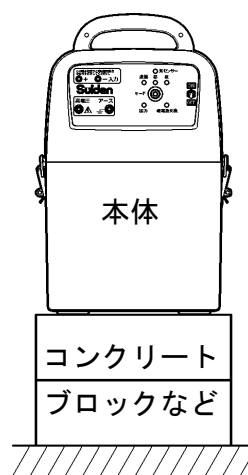
- ① 乾いた丈夫な木杭(1.5m程度の長さ)を柵の内側に打ち込んでください。
打込みが浅すぎると、本体を設置したときに杭が倒れますのでご注意ください。
- ② 本体取付金具の穴位置に合わせて、木杭にφ8~φ9穴をあけてください。
- ③ 本体取付金具を木杭にボルト止めしてください。
※木杭の厚みに合った長さのM8ボルトとφ8平ワッシャー、M8ナットを4セットをご用意ください。
- ④ 本体背面(操作部の反対側)の差込み部に本体取付金具を差込みます。
本体の底面を取付金具の上に乗せて前傾しないようにしっかり固定してください。



《単一乾電池使用の場合》

●通常設置

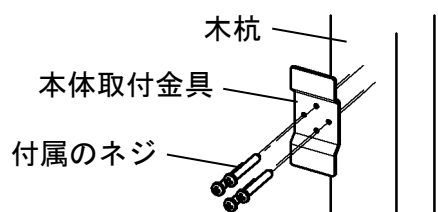
本体を右図のような台座に置いてご使用ください。
(台座に置くことで地面からの湿気や雨の跳ね返りを防ぎます)



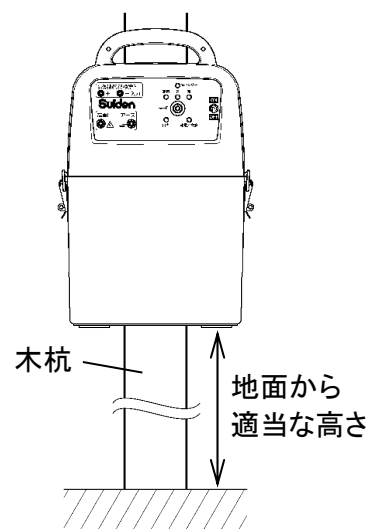
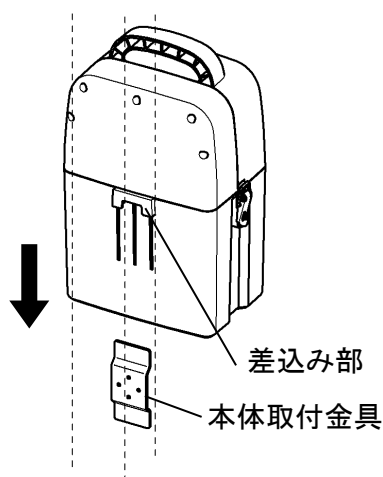
●木杭に設置する場合の手順

注記 別売オプションの本体取付金具(電池用)をご用意ください。

- ① 乾いた丈夫な木杭(1.5m程度の長さ)を柵の内側に打ち込んでください。
打込みが浅すぎると、本体を設置したときに杭が倒れますのでご注意ください。
- ② 本体取付金具を木杭にネジ止めしてください。
付属のネジ4本でしっかりと固定してください。



- ③ 本体背面(操作部の反対側)の差込み部に本体取付金具を差込んでください。



《ACアダプター・ブレーカーセット使用の場合》

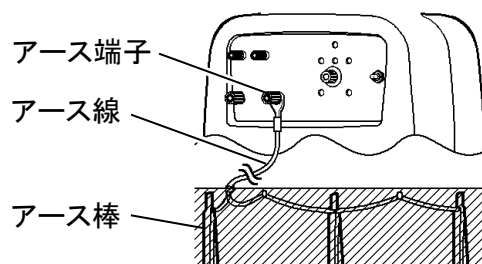
●通常設置

ACアダプターをご使用の場合は、屋内や小屋に設置してください。ACアダプターは非防水型です。

4. アース棒接続 (他のアースと干渉しないよう設置してください)

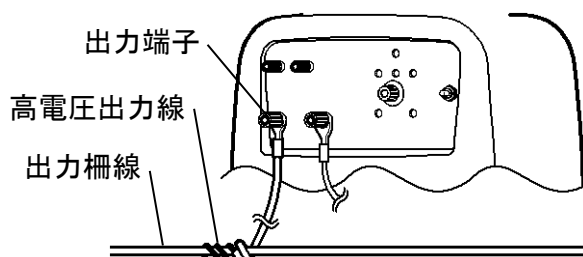
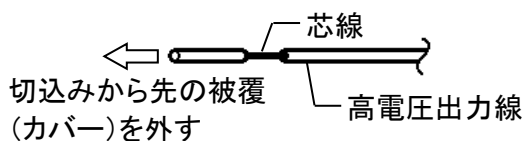
- ① なるべく湿った地面にアース棒をハンマーで打込み、地中に埋めます。
乾いた土よりも湿った土の方が効果的です。
砂地ではアースの効果がありません。
- ② アース棒のフック端子を本体のアース端子に接続します。

注記 アースが不十分だと電気ショック効果が得られません。適度に湿った地面にアース棒が抜けないようにしっかり埋めてください。



5. 高電圧出力線の接続

- ① 高電圧出力線のフック端子を出力端子に接続します。
- ② 高電圧出力線を出力柵線に巻きつけます。
出力線先端の被覆を外し、芯線が出力柵線に接触するように数回巻きつけてください。
※出力柵線の上段でも下段でもかまいません。



- ③ 巻きつけた出力線を覆うように絶縁テープなどを巻いておくと、芯線をさびなどから防げます。

注記 出力線が支柱や周辺のものに触れないようにしてください。

以上で本体の設置は完了です。

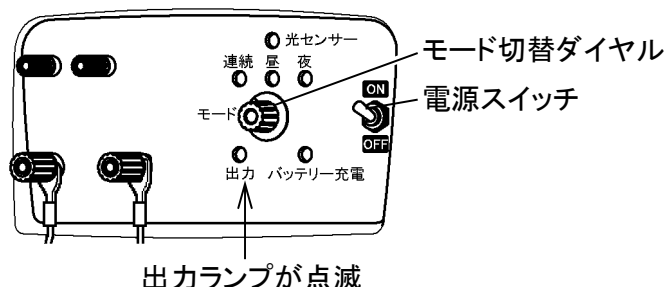
出力確認と検電器の使いかた

安全にご使用いただくために、必ず「安全上のご注意」の項を先にお読みください。

出力確認

- ① モード切替ダイヤルを「連続」に合わせます。
- ② 電源スイッチをON側に倒します。

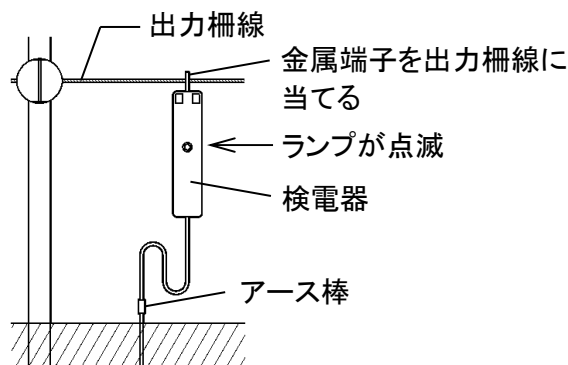
正常動作の場合は、出力ランプが点滅します。



検電器の使いかた

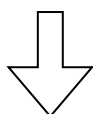
- ① 検電器のアース棒を地面に差込みます。
- ② 検電器の金属端子を出力柵線にあてて、検電器のランプの点滅を確認します。

検電器の中央にあるランプが点滅すれば正常に電気が流れています。



検電器のランプが点滅しないとき

- 出力柵線に草や木が触れていないか確認してください。
- 出力柵線が断線したり、伸びて地面に着いていないか確認してください。
- 出力柵線2段張り、3段張りをしている場合、上下線が接続されているか確認してください。
- 本体のアース線・高電圧出力線の接続を確認してください。
- 操作部の電源スイッチが「連続」になっているか確認してください。
- 乾電池仕様の場合、単1形アルカリ乾電池が正しい向きで入っているか確認してください。
- バッテリー仕様およびソーラーパネルとバッテリー仕様の場合は、バッテリー充電状態を確認してください。
- ACアダプター仕様の場合は、断線などなくAC100Vが供給されているか確認してください。



注記 バッテリーが完全に消耗するとランプは点滅しません。

検電器を正しく使って、もう一度テストしてください。

■ 検電器でトラブル箇所を探す方法 ■ ■

前項の作業で検電器ランプが点滅しない場合には、下記方法でトラブル箇所を確認できます。



出力端子を素手で触らない。
* 感電します。

	探す方法	結果	トラブル箇所
1	① 本体から高圧出力線を外します。 ② 検電器のアース棒を地面に差込みます。 ③ 検電器の金属端子を高圧出力線を外した端子に当てます。	検電器のランプが点滅	出力柵線のどこかで電気がおちています。
2	① 検電器のアース棒をアース端子に当てます。 ② 検電器の金属端子を出力端子に当てます。	検電器のランプが点滅	アースの取り方が不十分です。アースをやり直してください。
3	上記1、2の方法で検電器ランプが点滅しない場合	—	検電器もしくは本体の故障です。

日常の管理

電気柵は日常の管理がとても大切です。

以下の不良がないか、柵の管理には充分にご注意ください。

- ① 出力柵線に、木や草が触れていないか？
- ② 出力柵線が、石やトタン板に触れていないか？
- ③ 出力柵線が、たるんで地面に着いていないか？
- ④ 出力柵線が、切れて地面に着いていないか？
- ⑤ 本体の乾電池またはバッテリーが切れていないか？

漏電してしまい、電気柵の効果がなくなってしまいます。

以上のことを特に注意して管理してください。

故障かな？と思ったら

- まずは、11ページの「検電器のランプが点滅しないとき」の項目をもう一度ご確認ください。それでも改善しない場合は、最寄りの販売店にご相談ください。

《MEMO》

出力柵線の設置

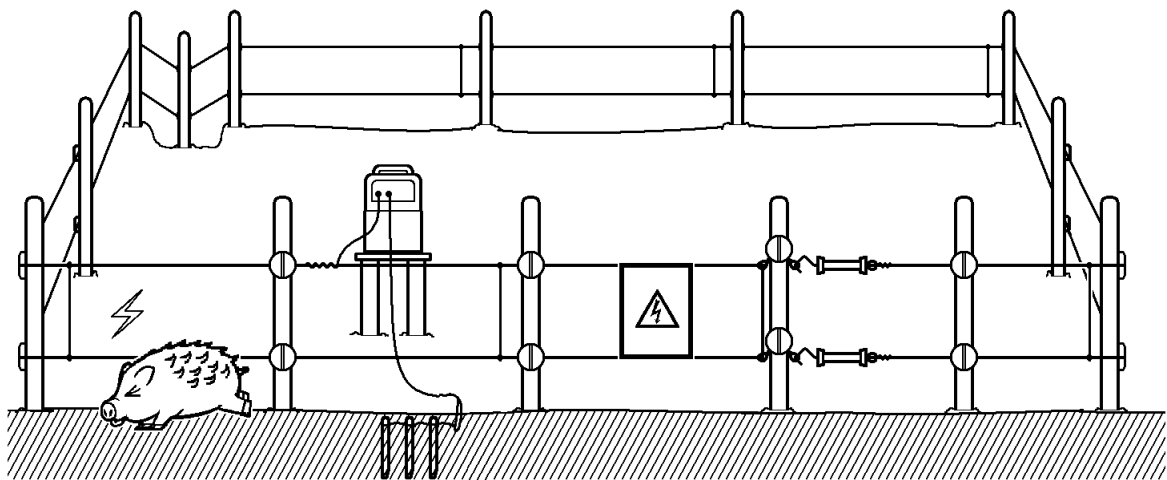
準備

電気柵の設置コースを決めて、コース上の草刈りをしてください。

注記

- ①電気柵は、出力柵線に草や木が触れると漏電します。下草の管理は基本になります。
- ②起伏がある場合は、支柱の間隔が狭くなります。
- ③対策する動物により、出力柵線の高さは変えてください。一番下の出力柵線の下をくぐられないように充分ご注意ください。

[電気柵設置概要図]



(1) 支柱を立ててください。

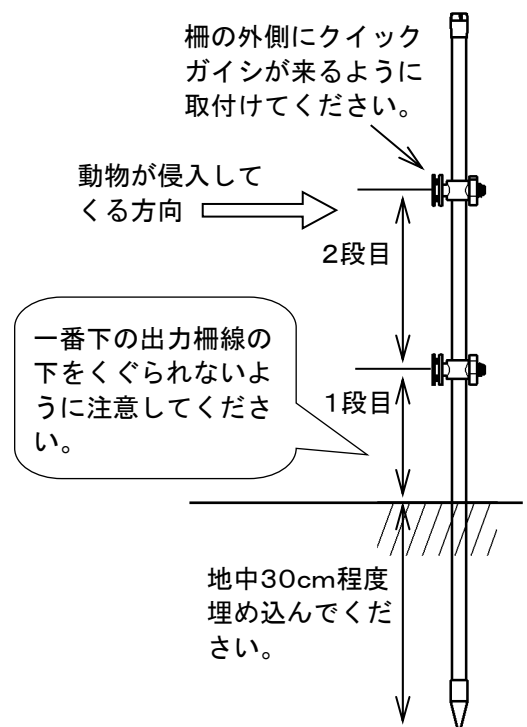
- 支柱は、3~4m間隔に木づちなどで30cm程度の深さに打込んでください。
- 起伏がある場合は、支柱の間隔を狭くしてください。

(2) 出入口部を決めてください。

(3) ガイシの高さ(出力柵線を張り巡らす高さ)を決めてください。

ご参考：対策する動物によって、出力柵線の高さは変えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ●タヌキなどの小動物 1段目：約10~15cm 2段目：約15~20cm 	<ul style="list-style-type: none"> ●イノシシ対策 1段目：約15~20cm 2段目：約15~20cm
<ul style="list-style-type: none"> ●シカ対策 1~2段目：約15~20cm 3~4段目：約40~50cm 	<ul style="list-style-type: none"> ●クマ対策 外周1段：約20~30cm 1~4段目：約20~30cm

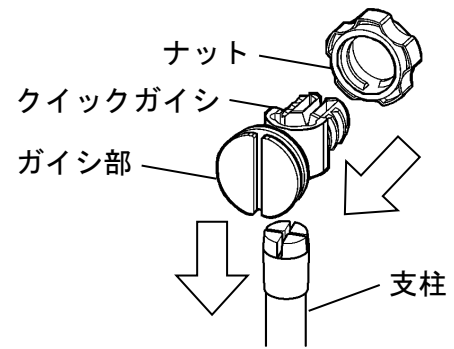


(4) 支柱にクイックガイシを取付けてください。

支柱にクイックガイシを通します。

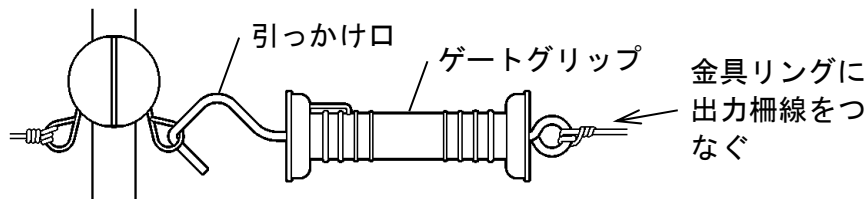
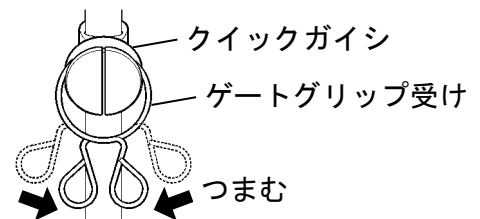
(3)で決めたガイシの高さまで通し、ナットで締付けます。

- ガイシ部を動物の侵入してくる方向(柵の外側)に向けてください。



(5) 出入口にゲートグリップを取付けてください。

- ① クイックガイシにゲートグリップ受けを取付けます。
- ② ゲートグリップの引っ掛け口をゲートグリップ受けの輪に引っかけて使用します。



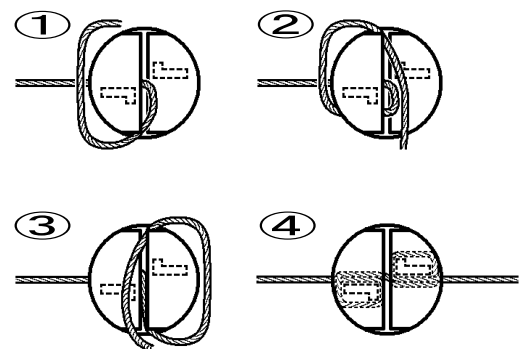
注記 出力柵線(より線)の金属線とゲートグリップの金具リングが確実に触れるように縛りつけてください。

(6) 出力柵線の取付けかた

- 出力柵線(より線)は、出入口部のゲートグリップから取付け、下段の線から張って、1回りしたら、線を切らずに2段目の線を張ってください。
最後に上段のゲートグリップに取付けるようにすると設置が簡単です。
- 出力柵線(より線)が余ってしまった場合はペンチなどで切断し、保管してください。
- 上下段の出力柵線は、30m~40m間隔で上下結線をしてください。*電気の通りを良くするため

《クイックガイシと出力柵線の巻きかた》

- ① 上から中央の溝を通し、ガイシの左側に巻きつけます。
※図では、わかりやすいように出力柵線をゆるめています。
図は左側から張る場合です。
- ② 再度、上から中央の溝に沿わせます。
- ③ 中央の溝を通してから、出力柵線をガイシの右側に巻きつけます。
- ④ ゆるまないように、しっかり出力柵線を締めてください。



※右側から張る場合は、中央溝の下側から上に出力柵線を通してガイシ右側に巻きつけ、再度中央の溝に下側から出力柵線を通した後、ガイシ左側に巻きつけてください。

アフターサービスと保証について

⚠ 注意



当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

* 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。

* 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。

* 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、またはスイデンお客様相談室にお申し付けください。なお、標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後5年です。

<p>愛情点検</p>	★長年ご使用の電気さくの点検を！		<p>お願い 異常があれば ご使用を 即、中止!!</p>	<p>このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、乾電池またはバッテリーを外して、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。</p>
	<p>このような症状はありませんか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●運転中に異常な音や振動がある。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常がある。 		

《製品の廃棄について》 本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。

製品保証書（持込修理）

品番	SEF-100-4WX	製品保証期間	本体 お買い上げ日より1年間
		※お買い上げ日	西暦 年 月 日
※お客様	〒 TEL _____		
	ご住所 _____		
	お名前 _____ 様		
※販売店	所在地 〒 _____		
	店名 _____		
	TEL _____ (印)		
※印欄にご記入なき場合は無効となります。必ずご記入、ご確認ください。			

※製品保証規定・無償修理規定の詳細は次ページをご確認ください。

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-285-240

Eメールでのお問い合わせは info@suiden.com

株式会社 **スイデン**
農機営業部

〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪 2-4-24 ホームページ <https://www.suiden.com>

製品保証規定・無償修理規定

1. 保証の範囲

株式会社スイデンは、お客様による正常な使用において保証期間内に故障した場合には、以下に示す条項に従い、無償で修理をさせていただきます。（保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。）この無償修理規定は、保証書に記載されたスイデン製品について適用されます。原則として、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。持ち込みのできない修理品につきましてはご相談ください。なお、お買い上げ店などへご持参いただくに際しての交通費はお客様のご負担となります。修理または交換された本体や部品などはお返しいたしません。また、製品の使用または故障に起因する直接的および間接的な損害につきましては一切補償いたしません。

2. 修理受付に関するご注意

次の場合は、上記期間内でも有償とさせていただきます。

- ①無償修理のサービス提供時間以外での作業を希望されるとき。（サービス提供時間は、月曜日～金曜日8:30～17:30、ただし祝祭日・年末年始・夏季休暇などの会社休日を除きます。）
- ②使用上の誤り、取扱説明書および製品添付の書類に記載された安全上のご注意、記載お願い事項を遵守されないために発生した故障や損傷の修理。
- ③製品を改造したり、指定品以外の接続機器や外付け機器など、他の機器に起因して受けた故障や損傷の修理。
- ④株式会社スイデンおよび株式会社スイデンが認めた保守実施会社以外の者による保守サービス行為。
- ⑤ご使用中に生じた外観上の変化や、お買い上げ後の外的要因（落下、衝撃・圧力等の負荷、液体・薬品等の付着、水没など）により生じた故障や損傷の修理。
- ⑥火災、天変地異（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、虫害、公害、異常電圧などによる故障や損傷の修理。
- ⑦取扱説明書に記載された動作条件の範囲外での使用による故障や損傷の修理。
- ⑧保証書の提示がない場合、および保証書に販売会社名や購入日の記載が無い場合、もしくは本書の字句を書き替えられた場合。
- ⑨故障の原因が製品以外の部分である場合、またはその他の機器や電源等の不具合により生じた故障。
- ⑩消耗品や寿命品（バッテリー含む）の交換費用。また、過酷な使用条件による消耗品の劣化による故障。
- ⑪離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合に要する実費。
- ⑫故障判定を行ったときに、使用方法の間違い・勘違い・整備不良等によるお客様のミス・過失と判明した場合に、判定に要した費用。
※修理を依頼される前に必ず取扱説明書をご確認ください。
- ⑬中古製品として購入の場合。
- ⑭その他、株式会社スイデンの責に帰し得ない事由により生じた故障や損傷の修理。

3. 保証の対象

保証の対象となる部分は本体のみです。消耗品（フィルターやダストパック等や電池類）は保証の対象とはなりません。

4. 注意

- ①この保証規定は本保証書記載の規定により無償修理・交換をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ②保証期間経過後の修理等についてのお問合せは、お買い上げの販売店または弊社のお客様相談室、支店・営業所までお問合せください。その際の修理費用につきましては有償になります。
- ③本保証は日本国内においてのみ有効です。また、保証規定の詳細につきましては、弊社ホームページをご参照ください。

5. 製品保証書に関する個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただくことがありますので、ご了承ください。